

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2019年9月10日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美
レジメン名	DMPB(2~9コース目)【計8回】		
疾患名	多発性骨髄腫	適応の備考	
適応分類			
1コース日数	42 日間	総コース数	8 コース
抗がん剤投与量・投与日	ダラザレックス16mg/kg day1.22、ベルケイド1.3mg/m ² day1.8.22.29、アルケランday1~4、ブレドニンday2~4		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	~	22	23	24	25	26	27	28	29	~	42
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																●									
	点滴静注	デキサート6.6mg	3 本 / body		●																	●								
2	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																	●								
	点滴静注	ダラザレックス注	16 mg / kg	下記	●																	●								
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●										●							●	
	点滴静注																													
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●							●										●							●	
	点滴静注	ベルケイド注	1.3 mg / m ²	15 分	●							●										●							●	
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●										●							●	
	点滴静注																													
6	経口投与	アルケラン錠2mg 1日1回	9 mg / m ²		●	●	●	●																						
	経口投与	ブレドニン錠5mg	60 mg / m ²			●	●	●																						
8	経口投与	ボラミン錠2mg	1 錠 / body		●																	●								
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body		●																	●								
		ダラザレックス注投与の1~3時間前																												

【投与上の注意】

ダラザレックス: 前投薬としてボラミン(2)1錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
 ダラザレックス: 2回目以降はinfusion reaction が初回投与開始3時間以内になれば、希釈の生食を500mLとすることができる。
 ダラザレックス: 3回目以降は、初回と2回目投与時に最終速度が100mL/h以上でinfusion reaction がなければ、100mL/h × 1hから開始し、150mL/h × 1h、200mL/hとする。
 ダラザレックス: 投与時はインラインフィルター(0.2 μm)を使用すること。
 ベルケイドは皮下注も可。